



日進北小だより

平成28年10月1日 10月号 第6号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

感謝、感謝の運動会

校長 中村 勝光

先日の運動会では、来賓、保護者、地域の方々など多くの皆様にご声援をいただき、ありがとうございました。おかげさまで大変盛り上がり、感動につぐ感動の運動会となりました。今年は、台風も接近し、雨で校庭が使えない日も多く、練習が十分とは言えませんでした。当日も雨が心配されましたが、たくさんの方々に見て、声援をいただいたことにより、児童も気持ちが高揚し、今までで一番力強い動きや素晴らしい演技を見せてくれました。改めて、児童の力に驚かされました。当日、お手伝いいただいたPTA、おやじかい、保護者の皆様、ありがとうございました。

運動会に先立つ9月6日の朝会で全校児童に、次のことを話しました。

リオデジャネイロ・オリンピックで、競技が終わった後の選手のインタビューを聞くと、ほとんどの選手が同じように次の3つのことを言っていました。第一にオリンピック出場までにたいへんな努力をしたこと、第二に本番で実力が発揮できたかどうかということ、第三に指導者や家族に感謝していること、です。みなさんも運動会があります。同じように、一生懸命練習し、本番では最高の力を出し、保護者や応援してくれた人に感謝しましょう。

この選手のインタビューのことは、先月号の学校だよりも掲載しました。

さて、結果はいかがでしたでしょうか。練習のはじめの頃は、動きを覚えることや先生からの注意を聞いてその通りに動くことに精一杯でした。しかし、本番間近には、自信をもって動いている児童も見受けられるようになりました。本番は、今までで一番良い、最高の演技や動きができました。児童は、見ていた保護者の方々に「どうだった？」と聞きます。それは、練習の成果が発揮でき、当日の動きや演技に自信があるからなのです。ただ、失敗をして悲しい顔をしている児童もいました。みんな「よくできた」とほめてあげたいです。最後に、児童には、感謝の心を持ってもらいたいです。練習で泥だらけになった体育着を洗ってくれたこと、お弁当を作ってくれたこと、当日大きな声で応援してくれたこと、演技をほめてくれたこと、すべてに感謝の心を持ってくれればと願います。お家の人に「ありがとう」と言うことができればと思います。これらのことは、運動会の開会式や閉会式でもお話ししました。

児童は、小学生の時の運動会のことをいつまでも覚えていると思います。すべてではなくとも、特に、表現の演技のことや自分が活躍したこと、お弁当のことなど印象に残ったことは覚えています。それは、きっと自分が親になり、我が子の運動会を見た時、保護者への感謝とともに鮮明によみがえってくることでしょう。